



●今年の当たりカラーは赤イエロー！



●夏場は16、17時ごろ集合して23時ごろ沖揚がりする「早夜俵」で出船



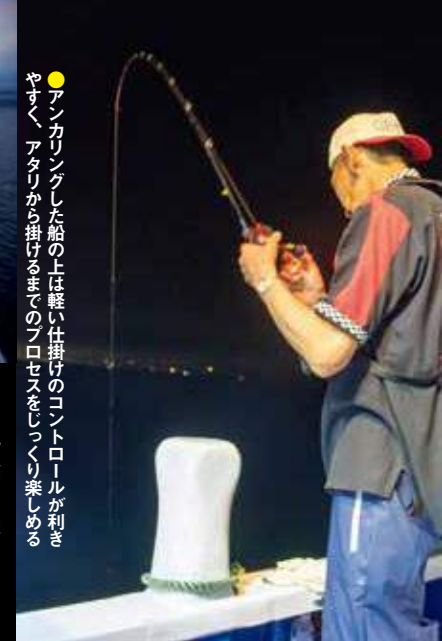
▲秀丸ではイカメタルのドロッパー（被さ）はオマツリ防止で1本まで



▶ドロッパーの接続はサルカン付き回転し、ズネイカフックの組み合わせがおすす



▲週末ともなれば満船必至。予約はお早めに！



●アンカングした船の上は軽い仕掛けのコントロールが利きやすく、アタリから掛けるまでのプロセスをじっくり楽しめる

◀この日の乗船者は全員イカメタル

▼ムギイカも交じる

# 夏はイカメタルが強い！

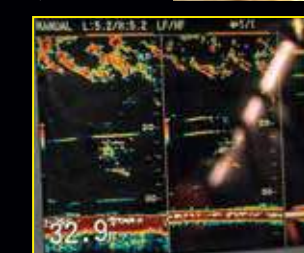
## 駿河湾沼津内港出船

撮影◎訓覇啓雄



▲タコも上がった

▶タマヅメに直結仕掛けて数をのばすのもの一手



▲日が落ちると徐々に反応が浮いてくる



▲ナマリツノは8~10号をメインに、潮が速いときもあるので15号もあると安心



▲イカメタルの取り込みは、スイツと竿を立てて抜き上げればよい

●当日の釣り場は大瀬崎付近の水深30メートル前後。10隻ほどのマルイカ船が集まった

## MARUIKA GAME IN SUMMER NIGHT

夏の沼津の風物詩といえは夜マルイカ。当地の夜マルイカ乗合はアンカーを下ろして船上灯でイカを寄せるカカリ釣りで狙う。船上灯にブランクトンや小魚が寄るとイカも寄り、次第にタナが底周辺から中層へと広がってピークを迎える。釣り方・仕掛けは多彩で直結、直ブラ、ブランク、イカメタル（一つスツテ）など思い思いのスタイルで楽しめる。取材した沼津内港・秀丸の小池秀幸船長によると、夏場はタマヅメに直結や直ブラでバタバタと乗り、暗くなるとタナが底から水深の半分くらい上まで広がるとイカメタルにアタリが増えるという。とくに今年には赤イエローのナマリツノがおすすめとか。夏本番を迎え、釣況も良日はトップ30杯以上と調子を上げている。涼しい夜釣りでマルイカの乗りを満喫しよう。（詳細は56ページ参照）

▼マルイカのサイズは胴長10~20センチ級



▲タナが上ってきたら落とし込みの誘いも効果的



◎駿河湾沼津内港・秀丸 小池 秀幸船長